

題材名「大きい数をしらべよう」

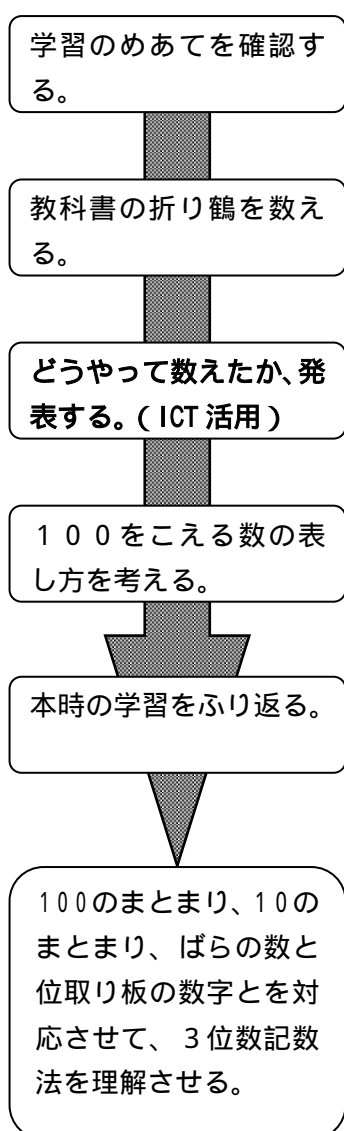
目 標

- ・ 教科書の折り鶴(235こ)の数え方を工夫し、100を超える数の表し方を知る。
- ・ 自分の考えをまとめたものをマルチPJカメラを使って投影し、みんなにわかるように発表する。

コンピュータを活用する利点

自分の考えを前に出て発表する際、考えをまとめたものをそのまま拡大して投影できると、時間もかからないし、視覚に訴えられて分かりやすい。先進機能を搭載した多機能・高性能書画カメラ(YC400)を使うと鉛筆の小さな文字も鮮明に投影できる。また付属のソフトウェアを使って一度投影したものを再度投影したり、一部分を拡大したり、パソコン上で簡単に操作できて便利である。

授業の流れ



ICT 活用場面

折り鶴をどう数えたかをみんなに発表する場面で、マルチプロジェクションカメラ(YC-400)をプロジェクターとパソコンに接続して自分の考えを書き込んだものを投映した。そのまま投影したので時間がかからないし、400万画素の高解像度カメラを搭載しているので鉛筆の小さな文字も鮮明に投影できた。聞く側も、投影したものをしながら聞くのでわかりやすく、目と耳で集中して聞くことができた。



成果と課題

先進機能を搭載した400万画素の高解像度カメラは、OHCよりも鮮明に美しく文字を投影することができる。これを使うと子どもたちも「映してほしい」と意欲的に発表できた。投影したものはパソコンに記録しているので、「さんの考え方をもう一度見よう。」とクリックするだけで画面がもどり考えを比較できた。一部を拡大するのも簡単で便利だった。その他、被写体を取り替える際に置いた書類がずれたり傾いていても均整のとれた画像に自動的に補正できることや、図鑑や辞書などの分厚い本、草花や石といった様々な立体物も鮮明に投映できる等、便利な機能が多い。しかし、使うたびに配線等の準備をしないといけないため、どうしても活用頻度は下がってしまう。より簡単に活用できるよう工夫することが今後の課題である。

ICT 活用環境等

使用周辺機器	プロジェクター カシオ「マルチプロジェクションカメラ(YC-400)」
使用ソフト名	YC-400 付属のソフトウェア
使用教室	普通教室